

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第27号 (通巻第94号)

---

2004年3月10日 発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

## 教育実践総合センター教官 1・2月の主な活動

- 1月16日 学生チューター打合せ会(甲府市教育研修所にて,井上・林)
- 1月21日 教育実習成績評価委員会
- 1月21日 第2回教育臨床研究会。「特別支援教育における家庭学習(2)小学校算数の家庭学習の指導法について」講師:土肥満氏(山梨県教育委員会指導主事)・山本由美子氏(韮崎小学校教諭)。参加者15名(鳥海)
- 1月22日 山梨大学地域貢献特別支援事業(高等学校新教科「情報」担当教員支援)の一環として,山梨県高校教育研究会情報科部会と共催で,山梨県高等学校教科情報研修を開催。参加者30名(多目的教室にて・成田・山下)
- 1月22日 附属小学校における教育相談(鳥海)
- 1月23日 附属幼稚園保護者集會にて助言「事故後の心のケア」(鳥海)
- 1月23日 山梨県特別支援教育推進体制モデル事業第5回専門家チーム会議に出席(鳥海)
- 1月23日 教育実践総合センター研究紀要に係る業者打ち合わせ(山下)
- 1月27日・2月3日・17日・3月9日・23日 山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業遠隔教育分科会に係る打ち合わせ・調査を下部町立下部中学校で行う(成田)
- 1月28日 自己点検・評価委員会(特別会議室にて・林)
- 1月30日 附属小学校公開研究会5年生「道徳」助言(鳥海)
- 2月5日地域貢献教育研究会(教育実践総合センター会議室にて(五味・林)
- 2月5日附属小学校における教育相談(鳥海)
- 2月6日山梨県特別支援教育推進体制モデル事業双葉西小学校における巡回指導(鳥海)
- 2月6日山梨県特別支援教育推進体制モデル事業研究協力校研究発表会打ち合わせ会議に出席(鳥海)
- 2月7日都留市小中学校PTA連合会研究集会講演「学校・家庭・地域における心の対話と教育力」(鳥海)
- 2月6日・7日地域貢献教育研究会・信州大学視察(五味・林)
- 2月9日山梨大学地域貢献特別支援事業(高等学校新教科「情報」担当教員支援)の一環として教科情報の研究授業の打ち合わせを行う(教育実践総合センター会議室にて,山下・成田)
- 2月10日増穂町教育委員会「幼稚園における障害のある幼児の受け入れや指導に関する調査研究」に係る増穂町峡南幼稚園調査研究推進地域連絡会第5回専門家チーム会議に出席(鳥海)
- 2月12日附属小学校における教育相談(鳥海)
- 2月12日国立大学教育実践研究関連センター協議会理事会に出席(東京学芸大学にて・鳥海)
- 2月13日第64回国立大学教育実践研究関連センター協議会総会及び部会に出席(東京学芸大学会場参加:鳥海・山下・林・五味,SCS参加:成田)
- 2月19日山梨県総合教育センター研究発表大会において指導・助言(山梨県総合教育センターにて,成田)
- 2月19日平成15年度第18回実践センター教官会議
- 2月20日山梨大学地域貢献特別支援事業の一環として情報収集(京都教育大学,鳥海)
- 2月23日-26日山梨大学地域貢献特別支援事業の一環として情報収集(沖縄県教育センター他,林)

2月24日山梨大学地域貢献特別支援事業(高等学校新教科「情報」担当教員支援)の一環として教科情報の研究授業を行う(甲府城西高等学校にて、山下・成田)

2月24日白根東小学校における教育相談(鳥海)

2月26日山梨県「特別支援教育推進体制モデル事業」研究協力校発表会並びにシンポジウムにて話題提供(鳥海)

2月27日平成15年度第1回教育実践総合センター運営委員会

## 教育実習成績評価委員会報告

私どもの学部では「山梨大学教育人間科学部教育実習成績評価委員会(仮称)の申し合わせ」(平成14年10月1日制定)によって、教育実践総合センターの委員会に教育実習の成績評価の適正化についての検討がゆだねられ、また、教育実習の単位認定者印については教育実践総合センター長印とされています。教育実習成績評価委員会は、附属4校長、学部教育実習委員長、教育実践総合センター長、教育実践総合センター専任教官で構成されています。本年度も教育実習担当教諭から提出された成績個票等にもとづき1月21日(水曜日)に本学部の授業科目「教育実習」の単位認定が行われました。教員養成大学の主たる目的は教員養成であり、具体的には教員採用試験の通過が目的になります。教育実習は教員としての実践的指導能力を高めるとともに、教員採用試験二次試験の面接、模擬授業、論作文のトレーニングでもあるため、他の授業科目と同様に学生が十分な学習効果をあげられるように指導していきたいと思っております。

## 教育臨床研究会報告

教育臨床研究部門では、昨年11月より、特別支援教育に関する学習会を開始しました。

特別支援教育は、個々の児童・生徒がもつ教育的ニーズに丁寧に対応していくことが求められています。また、特別支援教育では、従来、障害児教育が対応してきた子どもたちだけでなく、LD(学習障害)やADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等の知的な遅れを伴わない軽度発達障害の子どもたちまで広く対象となります。従って、通常学級における学級経営や教科指導等の見直し、学校全体での支援体制の整備が不可欠となります。文部科学省では、小・中学校における特別支援教育の全国的な整備を平成19年度までに構築するとしています。山梨県教育委員会では、平成13～14年度に「学習障害児に対する指導体制の充実事業」、平成15～16年度に「特別支援教育推進体制モデル事業」を実施しています。これらの委員会には、本学部の山下滋夫、廣瀬信雄、鳥海順子、医学部の相原正男、金村英秋(敬称略)など本学からも多くの教官が関係しています。国立大学教育実践研究関連センターにおいても、今年度から徐々に特別支援教育関連の事業が行われるようになってきました。本教育実践総合センターでは、「教師のための教育相談」で養護学校教師より相談を受けた「家庭における低学年の算数指導」を取り上げ、平成15年11月12日、16年1月21日、3月17日(予定)に、「教育臨床研究会」を「親の会」との共催で企画いたしました。講師には、山梨県高校教育課土肥満指導主事、葦崎小学校山本由美子教諭(本学内地留学生)のおふたりにご協力いただきました。当日は、保護者を中心に15名ほどの方々が集まりましたが、具体的な質問も多くあり、充実した会となりました。内容的には、教師研修としても意義があると考えられますので、今後、保護者と教師とが共に学べる研究会に発展できればと思っております。

## 山梨県高等学校教科情報研修報告

高等学校新教科「情報」担当教員支援事業の一環として、表題の研修を平成16年1月22日(木)に開催しました。この研修は、山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センターと山梨県高等学校教育研究会情報科部会の共催、山梨県教育委員会の後援により、実践センターの多目的教室を会場に開かれ、情報科部会の高校の先生方をはじめとする30名の参加者がありました。講師は、県内からは山梨県立甲府第一高等学校の依田源教諭と実践センターの成田が、県外からは2人の講師を招きました。参加者からは、昭和音楽大学非常勤講師の吉原太郎氏が紹介した音声・音楽加工・編集ソフトのProToolsの紹介と、富山県立大門高等学校の江守恒明教諭による教科「情報」の実践報告と評価についてが特に好評でした。この研修により、県内の先生方に、教科情報の授業イメージや教材・学習コンテンツなどの情報提供ができたと思います。学内外の多くの方々の協力により、成果をあげることができました。ありがとうございました。

\* これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/> で見ることができます。